

2024年2月14日(水)

## 北海道札幌稲穂高等支援学校木工科通信 キツツキだより (1,2月号)

私たちが一生けんめい木をけずって、みなさんによろこんでもらえる製品を作っています。  
木工科の作業学習の目標は「仕事が好きになる」です。

### 1年生 はじめてのはこづくり…ゴミ箱の製作



作業をとおして、技術もだいぶじょうたつし、  
いよいよ箱ものをつくることになりました。

### 2年生 同時にいくつかの製品にとりくむ。



いなほていばんのベンチの  
製作。協力が必要です。



三角形がたくさん作られていきま  
すね。なにになるのでしょうか。

## 3年生 いよいよ卒業製作・・・大好きなゲーム機の収納箱を

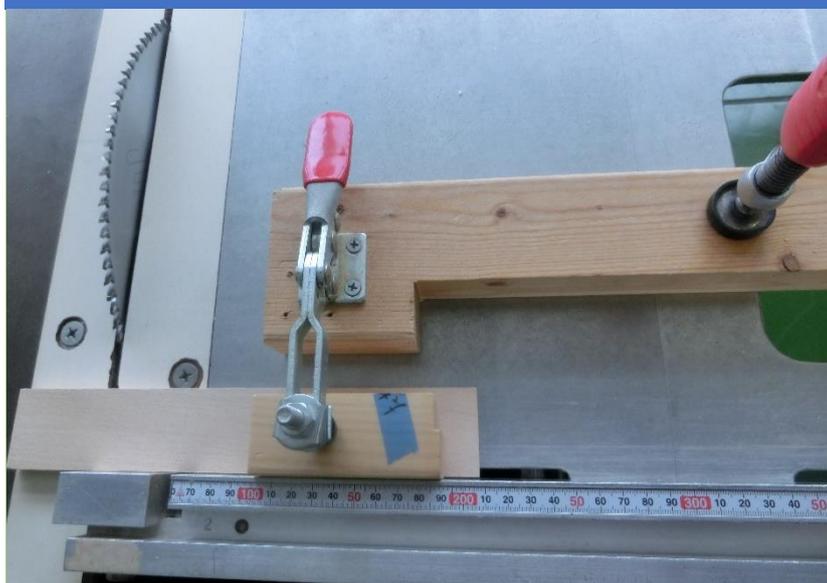


先生の指示書を見ながら、  
作業手順を決めます。



組み立て作業。  
形が見えてきました。

## 中学校の先生方へ 安全への配慮



右の写真は「(軸傾斜)横切り盤」です。本校木工科では、これを使う時、手で押さえず、クランプを使うように指導しています。

このような工夫のおかげで、〈手の位置〉をより刃から離すことができ、生徒たちが怖がらずに機械を使うことができるようになりました。

本校の木工科では、毎月の部会で「ヒヤリハット事案」を出し合う時間を設けています。1年に1回、あるかないかの事案ですが、こういう時間を取ることで、1つの学年で起こったできごとを他の学年も共有できます。

学習における「けが」はあってはならないものですが、恐れてばかりでは学習はすすみません。

「注意事項や手順を守れば、安全に作業できる」それは生徒たちの〈作業に対する自信〉を高めてくれると考えています。